



# ～hugくみ～

## 竹は節目で強くなる



～最後の一年、前期終了間近～

9月23日（木）、暦の上で「秋分の日」だったその日に2021年は残すところちょうどあと100日となったそうです。「秋分の日」とは、季節を分ける二十四節気（他に「夏至」「冬至」「立春」などもあります）の16番目にあたり、昼と夜の長さがほぼ等しくなる日です。つまり、「秋分」を過ぎると昼よりも夜の長さが長くなっていき、空がグッと冬めいてくる節目の日なのです。

東中学校でも、もうすぐ一つの節目を迎えようとしています。それは、4月から9月をひとつの期間とする「前期」の終了です。前期終了まで、あと3日。今年度は、本来この前期にあるべきだった修学旅行や文化祭（合唱の部）が延期となってしまったため、この半年を振り返った時に「〇〇な半年だった」「〇〇を通して成長した」と、何かを具体的かつ前向きに思い返すことが難しい生徒も多くいるかもしれません。しかし、一人ひとりの生徒の心は確実に成長を遂げています。それは、彼らを近くで見ている私にはしっかりと感じられます。日常の何気ない会話の中で。折に触れて書いてもらう文章の中で。授業や清掃などの様々な活動の中で。他の学年職員から聞かせてもらう話の中で。

### 大切なことは、目に見えないからね

とは、『星の王子さま』（著：サン＝テグジュペリ）の中の有名な言葉です。自分の星に咲いていたたった一輪のバラがこの世で唯一のバラだと思っていた王子さまは、ある日たどり着いた地球に無数のバラが咲いているのを見てショックを受けます。しかし出会ったキツネとの会話の中で王子さまは、自分のバラと他のバラには“バラのために使った時間”が違うということに気が付き、自分にとって自分のバラは他のどのバラにも変えることのできない大切な価値があることを再認識します。例年に比べて行事等の目に見えやすい（活動の成果や自分たちの成長を感じやすい）取り組みがない中で、コロナ禍での活動自粛を求められる学校生活。様々な活動ができていた例年の方が、見た目には有意義に見えるかもしれません。しかし、大切なのは、具体的に「何をしたか」ではなく、自分に与えられた時間を自分自身が「何を思い、どんなふうに過ごしたか」です。いつも通りにいかない今のこの状況だからこそ、自然といつもよりも考える機会はきっと多くあったと思います。だからこの半年間は、実は他のどの年の半年間にも劣ることのないとても有意義な半年間なのです。

「竹は節目で強くなる」という言葉があります。竹は中がほぼ空洞です。それなのに竹が強い風に吹かれてもしなやかに曲がり、滅多なことでは折れないのは、節目がたくさんあるためなのです。ある時期に何かを振り返るという行為には、自分の心に「節目」を作るといった意味合いがあります。青空学年の生徒たちにも、この前期・後期の切り替えの時期を、行事があったからとかではなく、自分自身で「節目」として意識し、自分たちが力強く成長するための一つの契機にしてもらえたらと思います。

学年目標

# 飛

～素直な心で互いに尊重し合い、小さな翼を立派に成長させて未来へ翔けだそう～

《修学旅行 目標》

## Ultimate School Trip

～究極の修学旅行～

- 一、団結をして仲を深める
- 一、伝統文化を学び、思い出に残す
- 一、コロナに負けるな！健康第一！
- 一、ルールを守って、安全に気をつける
- 一、パッと臨機応変に行動、ピースを大事に

## 作文「これからの時代に大切なこと」より

国語科で「人工知能」に関わる2つの文章を比較して読み深めながら最後に自分の考えをまとめる段階として「これからの時代に大切なこと」というテーマで300～400字の意見文を書かせました。そこで生徒たちは国語科としての文章力のみならず、人としての成長も感じさせてくれました。そんな中から今回は前期学年委員長である寺本大治郎さんの意見文を紹介します。

今の社会では、新しいものなどがたくさん生まれてきています。それを見ているだけの人と、それをうまく利用して時代に合ったことをできる人では、確実に後者の方が出来ることが増えて、可能性が広がると思います。

しかし、今の日本人は周りの人に合わせて自分から積極的に新しいことに手を出さない人が多いように感じます。自分もその一人です。テレビなどで成功しているような人はみんな他の人がやっていたり、考えなかったりすることをやっていると思います。

このように、変化を恐れずに、新しいことに向かって自分から動き出した方が、自分の成功や成長に繋がるのではないかと思います。なので、自分から積極的に「行動を起こす」ということが必要になっていると思います。

「行動を起こす」。とてもシンプルで力強い言葉です。そして現に寺本さんは様々な面でこの言葉に負けないうまきしい姿を見せてくれています。こういった意識や姿勢が、これから始まる後期(10月以降)の中で、学年内のより多くの生徒たちにも生まれてきてくれることを願っています。

## あとがき

ここ最近、個人的に努力していることが一つあります。それは娘の髪を上手に結ぶことです。結ぶと言っても、三つ編み等のレベルの高いものではなく、ただ単に後ろで一つに結ぶことなのですが、これまでの人生で自分の髪さえ一度も結んだことのない私にとっては、これがなかなか至難の業なのです。痛いのではないかと気を遣っているとゆるくてほどけてしまったり、髪の毛が引っかかってしまって実際に痛い思いをさせてしまうこともあるし、ようやくほどけないように結べたと思ったら髪の毛の束が上を向いてしまったり、失敗と試行錯誤の毎日です。そんな中でも妻に教えてもらったりもしながらそれなりに娘が満足できるようになると、ささやかですが達成感が湧いてきます。おそらく「学ぶ」というのは、こういうことなのだと改めて感じています。何か新しい知識や技術を習得しようとした時に、最初はうまくいかなくても試行錯誤を繰り返して、時に誰かにアドバイスをもらい、その成果を自分自身で実感したり他の人に評価してもらったり、そうやってより良い形を模索していくことが「学ぶ」ということなのでしょう。もちろん一度でうまくできれば苦労はないし、それに越したことはありません。しかし最初にうまくいかないからと言って簡単にあきらめることなく、粘り強く工夫を重ねていくことが大切です。授業における学習も、進路選択という大きな取り組みそのものも、きっとそうだと思います。

## 今後の予定

(今 週)

日	曜	行事等
27	月	全校朝会 45分授業 諸活動停止
28	火	45分授業
29	水	45分授業 テスト前諸活開始 テスト前補習
30	木	45分授業 テスト前補習
10/1	金	45分授業 テスト前補習 集金袋配付

(来 週)

日	曜	行事等
4	月	中間テスト(数・国・社) <b>Chromebook 持ち帰り&amp;接続確認</b>
5	火	中間テスト(英・美・理) 昼食あり 卒業アルバム個人再撮影&部活動撮影
6	水	45分授業 清掃カット 評議会・常任委員会 <b>弁当給食なし(牛乳あり)</b>
7	木	45分授業 <b>集金最終日</b> 帰り学活+15分(式典装飾準備)
8	金	45分授業 昼清掃

※「諸活動停止」は放課後の活動がすべて無しで帰り学活後に全員下校することを示します。

※月間を通しての行事予定は、学校だよりおよび学校ホームページにてご確認いただけます。